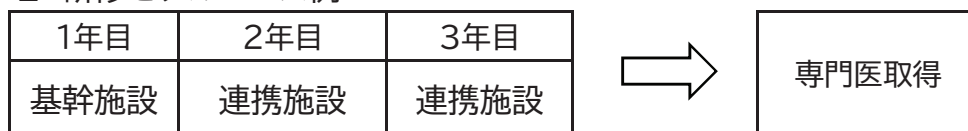


鳥取大学小児科/脳神経小児科専門研修プログラム

1 プログラム概要

- (1) 鳥取大学医学部附属病院を基幹施設として、鳥取県、岡山県、島根県の関連病院を連携施設とするプログラム。
- (2) 研修期間は3年間。
- (3) 基幹施設での研修は1年間が必須で、感染症疾患・内分泌代謝疾患・血液腫瘍疾患・アレルギー疾患・呼吸器疾患・肝臓・消化器疾患・腎泌尿器疾患・循環器疾患・神経疾患を担当医として研修し、周産期センター新生児部門で新生児疾患・先天異常疾患を3か月から6か月研修。
- (4) 3年間を通じ、外来での乳児健康診査と予防接種などの小児保健・社会医学の研修と救急疾患の対応を担当医として研修
- (5) 小児科と脳神経小児科が連携し、各研修施設の特色を生かした多様な研修コースを設定。すべてのコースで、小児診療、小児脳神経診療、新生児診療の経験が可能。

2 研修モデルコース例



3 基幹施設・連携施設

	施設名称
基幹施設	鳥取大学医学部附属病院
連携施設	鳥取県立中央病院
連携施設	鳥取市立病院
連携施設	鳥取県立厚生病院
連携施設	山陰労災病院
連携施設	米子医療センター
連携施設	松江赤十字病院
連携施設	松江市立病院
連携施設	津山中央病院
関連施設	鳥取県立総合療育センター

鳥取県知事が指定する病院

自治医大卒・特別養成卒医師の勤務先医療機関については、制度別キャリア形成プログラムをご覧ください。